

# 鷹柱天地引き寄す力かな

沼田 布美

（「俳句界」十一月号より）

単に鷹という場合は鷹狩に使われる留鳥、あるいは北方から渡来するものなど種類が多く、季語としては冬に分類されます。しかしタカ科のサシバや蜂熊などは繁殖のため夏鳥として渡来し、秋になると越冬のため南へと帰ります。その際の集合地は愛知県伊良湖岬、愛知県知多岬、沖縄県官古島が有名です。集合地に集まって大きな群れとなり、遠くに移動する時に使う独特の飛び方で上昇気流を上手く使って空高く上がります。一本の上昇気流の中に所挟しとタカが詰まって上昇する様は、この句で表現されましたように天と地を引き寄すほどのエネルギーが沸騰します。これこそ正に鷹柱。見事に鷹柱の実態を表現された一句。